

あおぞら会議について

令和5年10月24日（火）に開催されました「あおぞら会議」の概要は、次のとおりである。

1 日時 令和5年10月24日（火） 午後3時00分から同5時00分まで

2 場所 御船町カルチャーセンター 視聴覚室

3 参加者

御船町観光協会 9名

御船町議会 議長、産業厚生常任委員会

（森田議長、ジェリフ議員、作田議員、岩永議員、福永議員、清水議員）

（田上忍副議長、成瀬議員欠席）

4 会議次第

（1）開会（ジェリフ議員）

（2）議長挨拶（森田議長）

（3）御船町観光協会代表者挨拶（代表理事 津金日人詩 様）

（4）意見交換（進行：ジェリフ議員）

（5）閉会（ジェリフ議員）

5 意見交換について

協会から出されていた意見交換議題の概要説明の後、意見交換を行った。

できる限り速やかな進行を行い、意見交換に十分な時間を確保するよう配慮した。概要は以下のとおりである。

①化石発掘体験について

観光協会 まず化石発掘体験についての現状と課題について説明する。化石発掘体験を観光交流センターで4月から11月は土日、8月は毎日開催した。宿泊イベントも8月実施。今年度は鹿児島県の小学校の修学旅行、嘉島の児童保育園、南島原市の受け入れ実施または実施予定である。また県内外でのイベントは

TSUTAYA さくらの森店、TKU 住宅展示場住まいランド、不知火美術館と福岡のアクロスモール等で実施した。令和3年度の受入れ実績2,884人、令和4年度が7,461人、今期上半期6,978人を受け入れた。修学旅行誘致の取り組みは、鹿児島市内旅行会社へ営業活動を行った。3月の営業活動後、南国交通観光株式会社が興味を持たれた。修学旅行時の弁当については会議の結果、田代食堂、星雲市場、ウイズットの3社で対応することになった。今後は冬休みに修学旅行の担当の先生を対象としたモニターツアーを予定している。このような現状を踏まえ、課題は①観光交流センターの場所が分かりにくいことと、②観光交流センターは観光客に恐竜博物館と一体の施設と見られるので、恐竜博物館とのさらなる連携の強化を考える。また③交流センターの移転、化石発掘広場の移転の話。移転すれば化石発掘体験の減少は明白であり、観光客の町内観光の滞在時間を延ばすことは非常に難しくなると考え、町の観光振興に大きなマイナスになると考えている。

議会 課題のところで、一部議会と認識として違うところがある。町の基本構想では観光交流センターと恐竜博物館は一体の施設であるということ。あと移転の話、あるのかもしれないが、組織的にきちんと出てきたことはない。ここの部分は課題の中で理解してほしい点。また、基本構想の中に書いてある1番の目的は、恐竜博物館の来館者を御船町の来訪者に変えるということになっている。その目的を果たすような施設にならなければいけないということ。あとは建物が分かりにくいことに関しては、議会での再三議論している。シンボルロード沿いの玄関、恐竜博物館の玄関と見られるが恐竜博物館の玄関ではない。あそこは恐竜博物館と観光交流センターの共通の入り口。そこは議会で共有した。

観光協会 役場と観光協会一緒に、看板の発注に向けて2回会議をした。その時の博物館側の言い分は、観光交流センターに入る人は、玄関ではなく裏から入ってくれということだった。今言われたことと矛盾する。そういう考えの方がおられる。観光交流センターから博物館を通過して向こうに出るのも手が汚れているから困ると。

議会 そこは調整をしないとイケない部分。あそこは教育委員会と町長部局が混ざっている。その管轄の最終調整は町長がするように法律で決まっている。組織

で動いているので、個人の意見を尊重してはいけない。違うのであれば、基本構想を変えなければいけない。

観光協会 何回も同じ議論を続けてきているが、完璧に平行線。トップは教育長と言われるが、どうしても現場の意見を尊重される。

議会 恐竜博物館部門の館長が教育長。ギャラリーのところは町長部局。入り口はその共通の入り口。これはもう何回も議会で確認している。つまり入り口の権限は教育長が持っているわけではない。

議会 結論から言うと、あそこは教育長、社会教育課だけでは任せられないということで、今町長部局が入っている。こういう話を聞いたが、おかしいのではないかと投げかける必要がある。今まで質問をしてきた中で一番気になったのは導線。玄関から入って向こうの導線を職員は紹介しない。今回の特別展の件も観光協会、商工会と協力をするということだったが、私たちから見て協力をしたというまではしてないと思う。協力をするというなら夏休みの1日、2日ぐらいは役場前の駐車場の半分でもいいから観光協会とか商工会とか出店を出してもらおうとかあればと思う。博物館全体で盛り上げ、来館者を本当は本町通りまで誘導できるように全体的にお金が落ちるよう工面を考えていかないといけないと思っている。今後の課題として博物館に対しての意見として言っていく。

議会 博物館全体と観光交流センターが連携というのは当たり前。観光協会、商工観光課、商工会で再三打ち合わせをしている。しかしコロナがあり、現在連携強化されているか聞きたい。また博物館の館長と町長の意向が噛み合っていないのが現状だと思う。博物館は学習の場、教育の場、そして人を呼んで回遊させる場として化石発掘体験がある。15万人来る中で、少しでも町内を回遊する方法の話とか色々あった。

観光協会 現在、町内回遊の施策として、ランチマップというものを作って案内している。今年度中に飲食の面だけではなく、芸術・文化、アウトドアの体験型の事業所が町にたくさんあるので、ランチマップのような形式で一覧したものを作成したい。あとは協力隊の事業として。公園の方にショップカードと看板を組み合わせたものを置いている。また、ショップカードとの組み合わせでシールラ

リー企画も行っている。今後、町内回遊を進めていけるよう、協会で考え動き始めている。

議会 観光協会は博物館運営委員会の委員になっている。今年度委員会は何回開かれているか。前年度は何回開催されているか。

観光協会 前年度は2回、今年度はまだ何も言われていない。

議会 委員になったのは去年だったと思うが。

観光協会 去年ですね。

議会 私たちからするとはじめから観光協会とか商工会とか農協も委員に入れて当然だと思う。去年どうにか2回はあったようだが、今年はまだ行われていない。博物館だけ単独で何でも仕切るという風に思っているのか。

観光協会 委員になった経緯説明は、博物館法の改正があり、特定博物館を維持するため、今までは学術経験者、教育経験者によって構成してればよかったが、地域交流が審査に関わってくるためと聞いた。私たちは観光分野のことも議題にあがると思っていたが、地域の人たちがどれだけ博物館と関わっているかという話をしたかっただけと言われた。

議会 博物館法が変わる以前に町の基本構想に入っている。今の形の先取りした形。教育そして交流これも博物館としての本来目的に最初から入っている。だから博物館法が変わったからではなくて、その中でこうしてくださいという要望を出していくことが大事かと。

議会 社会教育課と商工観光課、観光協会で話し合いをしていかなければいけない。会議はあっていますよね。

観光協会 去年は2,3度商工観光課と社会教育課と観光協会、今後について社会教育課の方から会議を組んでもらった。その時は博物館とか学芸員の意見は関係ない。社会教育課が決めていく会議があるので、観光協会にも直接博物館ではなく社会教育課に言ってほしい。それを社会教育課から博物館に伝えるからということだったが、結局社会教育課の意見を博物館側が聞かない状況があるように見受けられる。

議会 昨年2,3回した社会教育課主催の会議は今年行われているのか。

観光協会 行われていない。

議会 ネットになっているのは条例かもしれない。博物館条例に基づいているが、教育目的のことしか書いてない。だから今回博物館法も変わったので、条例の中に本来の目的として観光を謳い込んでいくということが必要なのかなど。条例は議会が制定するもの。町が提案するだけではなく、私たちが提案することも制定することもできる。

観光協会 すごくロジカルな話がされているが、先ほど言われたように汚れちゃうからダメだとか観光協会が博物館に対して協力的ではないと感じる部分があるなら教えてもらいたい。ロジックだけじゃなく感情的に嫌な部分があるのなら教そこは配慮できる。

観光協会 学芸員さんの考えはですね。あくまでも学術的じゃなくて単純に石割りをしようと言われる。根本的にそういう石割を観光資源にしちゃいかんという博物館の考え。

議会 学芸員の方と話す機会があるが、話をして1番感じるのは、恐竜博物館は教育施設だという考え。恐竜博物館をどう利用するかが交流であり、観光は交流じゃない。あくまでも一義的にはその学術施設であり、保存、研究が主ですと言われる。でも町の基本構想は違う。それに従わなければという話はするが、教育長を入れた博物館の話し合いで決めていると言われる。

観光協会 観光協会もちろん博物館が学術的機関であるっていう所は十分理解しているし、そこを変えてほしいと言うつもりもない。ただ集客する場所にはなっているわけで、そこに来た人の満足度をいかにして上げるのか。そのための発掘体験であったり、レプリカとかすごいものを見て面白かったで帰るのもいいと思うが、実際に自分でその化石を見つけたという思い出がその町に対する思い出になったり、子どもたちにとってはこれから先どんな大人になるのか大事な要素になったりもすると思う。だから博物館、発掘体験面白かった。その後ご飯食べ行こう、他の体験もしてみたいもっとシンプルに進むシステムにしたいだけ。それが何かをやろうとすると博物館の品が下がるとか、博物館の周りで飲食屋的屋とか出されたら博物館の中が食べ物の匂いで充満するとか言われるとちょ

っと違うじゃないかって話をする。学芸員、博物館側からしたらワイワイ楽しむのが観光とは限らない。美術館で絵を見て回るように静かに回って、静かに帰ってそれも観光だという考え。

議会 博物館は学術的なものを展示する博物館だけで建てられたわけではない。また中の交流ギャラリーは町民憩いの場として建てられた。だから今みたいな話は元々の博物館の構想からしても間違っている。それを堂々と言うのは違う。議会で博物館が年間借り上げていると分かった。それはおかしいということで、今は特別展で利用する等、単発的に変わるような仕組みに変わっている。交流ギャラリーは町民憩いの場として、普段活用できるように考えていくというのが当然。

観光協会 交流ギャラリーの話が出たが、特産品「いさぎ」とかを売る場所を今観光交流センターの中に置いているが外から来た人が分かりづらい。確か博物館がオープンの際、商工会が主催してギャラリーで物販をやったことがある。物産館もないし道の駅もない今後そういったことを考えていただければ。また「いさぎ」の会議もなかなか先に進まない。進もうとすれば担当の方が変わって最初からという現状。確認ですが、交流ギャラリーで「いさぎ」とか物販を定期的に役場に申請して行うことは可能なのか。

議会 可能。

観光協会 それは全く議題に乗せてくれないような雰囲気。

議会 さっき言ったように以前は年間借りていたが指摘があつて変わっているはず。もう1つ気になるのは玄関から入ってあそこにグッズ販売している横の扉も本当は開けないといけない。

協会 しばらく使ってないので、今現在やったらどうなるかわかんないけれども。それこそ作田議員が課長の時に色々イベントをやろうとした時も、やっていいがその代わり扉を開けるな、裏から入れと。

議会 それは言えない、それは前のこと。前のことではない。今から先をどうするかを。扉は開いて開いた状態で使えるように。

②御船町ふれあい広場（恐竜公園）について

観光協会 ふれあい広場は、町民の憩いの場の及び町民と来町者相互の交流を促進するとともに、賑わいを創出し、町の活性化に寄与するために設置されており、観光協会の方で令和3年の4月から3年間指定管理を受け、来町者の満足向上に向けた業務等を行っている。公園では観光PRやブルックフィギュアや御船町の商品等を販売している。また、賑わいを創出するため、全面利用できるようにふれあい広場の出店規約を改定し8月にはメダカパラダイス。10月、12月にマルシェ等が開催される。しかし維持管理面において、昨今の異常気象等により草木の成長が早いため、頻繁に草刈り、樹木の剪定があり迷惑をかける状況。また、広場内のブルック周辺やグラウンドの芝の状況も非常に悪い。遊具の老朽化も目立っている。課題として①維持管理について、今年度草刈が想定していた回数を超えている状況があり、指定管理委託料について今後改訂する必要があること。②ブルック像周辺の芝がなくなって土がむき出しの状況であり、人口芝とかコンクリートの対策が必要。またグラウンドの芝の張り替えも必要になっている。

議会 指定管理料を計算する時に維持管理は入っていましたか。それとイベントを開催するための条件があると聞いているが、そのあたり簡単な説明お願いしたい。

観光協会 最初は復興課から仮設住宅みんなの家を改築して使えるようにという提案があった。それについては町の対応に観光協会も準じることにしていた。結局家を建てるのは復興課、予算を出すのは建設課。建設課からの予算には維持管理しかなく、観光というものが入っていないという話だった。人件費も2.5人ぐらい常時人を置く予定で採用の計画もしていたが、週休2日での予算がついていたため、それで受けている状態。町がどういう公園にすべきかをきちんと組んでいないことが大きな問題。今の状況からすると町の観光の中核になっているので、商工観光課が管轄すると色んな広がるのではと考えるが、「都市公園」という問題がある。化石発掘の移設先という話もあったが出来ていない。観光地にはきちんとした観光振興条例があり、その条例のもとにいろんなその計画がある。議会提案で御船町観光条例並びに観光振興計画というのを是非作っていただきたい

い。

議会 結局今観光協会を受けているのは管理のみということなのか。そうすると今年3回草刈したから超過しているとかではなくて、管理するというような契約なのでは。

観光協会 役場の方で年2回されていた前年度の維持費を計上されている。でもそれでは不足している。

議会 イベントの予算については。

観光協会 イベント開催費っていう形での指定管理料はない。管理費のみ。イベント予算持ち出しがあることは問題にはしてない。草の伸びがここ数年すごくて予算では全く足りない状況で観光協会持ち出しになるのは違うと思う。

議会 イベントするときの会場の使用料は取っているのか。

観光協会 通常取っている。公主催の場合は減免措置をお願いしている。

議会 芝生の問題。イベントで天候に左右されて芝生が剥げたことがあったと記憶している。あれは中止すべきではなかったか。

観光協会 最初にイベントやった時に悪天候で公園を荒らしてしまった件についてはやった側の落ち度。ただ、初めてで想像できなかったのもある。それからイベントを行う側には雨天時の対応も計画するよう伝えている。

観光協会 芝の問題。ブルック像に多くの人が写真撮りに来られ、あの周りが大分剥けている。人工芝や土木で使うゴム製のメッシュを敷くことを考えているが、養生期間等立ち入り禁止になる。部分的に行うため時間かかる話。

議会 みんなの家の活用については第2の案内所としていいのか。また観光案内人の取り組みはどうしているのか。

観光協会 コストコに公園への地図が出る QR コードの看板を出している。私達としては一度公園に来てもらいそこから町に流そうと考えている。

観光協会 話は変わるが、公園の真ん中の用水が結構泥が堆積していて、草も生えている。今は危ないので柵をして子どもは入れなくなっている。そもそもあそこは子どもを遊ばせる用のエリアだったと思うが、入れるような状態じゃない。定期的に町がユンボ入れるが増水すれば詰まる。あそこをうまく使えたらと考え

る。

議会 あの場合は設計が間違っている。あそこは農業用水が流れてくるから遊べない。それを遊べるように作った設計のミスだと思う。遊ぶところにするのであれば、水系を変えなければいけないがそれができるかどうか。

議会 町内に回遊させる施設の充実。そのことを頭の片隅にでもおいてほしい。

観光協会 観光交流センターからの回遊もあるが、これからは公園からの町内回遊が重要になっていく。来町者が何回も博物館や交流センターに来るわけじゃない。公園からのアクセスを中心に考えていくことになっていくと思う。

議会 コストコの QR コードの看板の検証も今後しっかりしてほしい。

議会 公園や博物館が主になって動いていると思うが、忘れ去られているのが歴史的な面。そのあたりと繋がるとうまくいくような感じがする。

議会 文化財マップもあるが古くなっている。これを社会教育課と連携して観光にも生かせるよう話し合いを設けてほしい。

議会 御船に住んでいながら、なぜ「御船」という名前がついたのか知らない人がいる。熊本地震後、国会議員の石破さんが来られた時も玉虫御前の話をされた。御船町には良いところがたくさんある。町の子どもたちにも教えることが出来る機会がほしいと思う。

観光協会 協力隊との企画で「みふねさんぽ」を今 volume.1 から 3 まで行っているが教育的なツアーになっている。スモールスタートでやっているため、多くの人数を集めて開催できていないがある程度の数の方が興味を持って来ている。続けていけば今言われたようなイベントになるのでは。

観光協会 協会で独自で勉強会をやっているが、町は町で、こちらはこっちでやっていると、なんか不揃いな部分が見受けられることがある。イベントにしても同日に違うイベントをやっていて、どこかでまとめて頂ければと思う。

議会 イベント決めたら必ずここというところはほしいと思う。町内外にどうやって発信するかは町のホームページが一番と思う。

観光協会 観光協会でも SNS をやっていて、会員はイベントの情報をインスタや Facebook で発信している。

③吉無田高原緑の村について

観光協会 緑の村の案内受付、ヴィラ、MTB コースの維持管理、ローンスキーやキャンプ受付等色々業務を受託している中で、施設の老朽化等や類似施設の開業などにより若干利用者は減少傾向にある。特に施設内のトイレが古く和式のため、利用者からの不満が出ている。また緑の村の駐車場と入り口がちょっと離れており歩道を歩く必要があり、事故も発生しているので非常に危ない。また、飯場の排水が垂れ流し状態である。一方、協力隊が企画立案した恐竜たちの運動会やジュラシックローンスキー大会はYouTube やインスタ等での情報発信より、かなり県内外からの注目のイベントになっている。一番困っているのは、雇用の問題。求人は行っているが厳しい状況。緑の村は春から秋までの繁忙期、冬の閑散期ということで、勤務の平準化が難しく、なかなかその求人をしてもらえないような状況が続いている。

議会 今町が緑の村を指定管理するとして、今の状態でも出しても必ず話は来る。実際にそういう話は来ているようだ。だからこそ、町のために運営できるようなところが受けるべきだというのは、議会の中でも何回か主張していたところ。そして緑の村は町の宝だから、町に返ってくるものがたくさんあるので、それができる組織が観光協会であると考えている。

観光協会 道路が良くなりますよね。県道も町道も。ただその先の計画があるのかを町と話しても全くない。高速道路のときも一緒だった。現状、道路が出来ることは非常にありがたい。実は今施設が来年の5月オープンを目指して作られている。だけど今の状態だと足かせになるものがある。

議会 今からは町にお願いをするだけではなく、その企画作成段階からみんなで考える。小布施町もそうだった。町は1つのプレイヤー。そういう形が理想的だと思う。

観光協会 トイレを改修しない理由を役場の方は「補助金で出来ているから出来ません」と言われたが、最低限、運動場と入ったところの右手の2か所のトイレを綺麗にしてほしい。来場者から「今時ボットンはない」と言われる。

議会 トイレは先日所管事務調査できちんと言った。予算化するように伝えてい

る。

観光協会 1度、商工観光課の方に町民と一緒にキャンプ場を作り変えていこうと提案して、再開発のやり方としてPFIを提案もしたことがあるが、PFIはありえないと言われた。役場の方は、全部開発するから譲ってほしいといわれる方を指すと。これ質問ですが、町有地に民間がお金を出して施設を作ることが出来るのか。

議会 指定管理は出来る。PFIとか作りたいて言うとは警戒してしまうので、会議体を作りましょうと話をするのは。

観光協会 一応会議を役場でという話は出ている。町民の方等も出て会議団を作りましょうと。ただ商工観光課はまだ早い、ある程度の決まったところで町民を呼ばないと無理だと言われる。

議会 役場に事務局を持たせる必要はないと思う。地方自治は本来町民が主体。

観光協会 キャンプ場の料金、条例を変えることで済むのであれば、ダイナミックプライシングとか新しいやり方もあると思うので、変えるべきだと思う。シーズンの良い時星野ヴィラは予約がほとんど取れない。料金を2倍3倍にあげると赤字も減る。

議会 条例改正も含めてどんどん提案をしていただきたい。

6. 会議の様子

